

後期

平成27年度

27. 3. 7

高度学校教育実践専攻教員養成特別コース

試験問題表紙

解答上の注意

1. 表紙1枚, 問題用紙2枚, 解答用紙2枚があるかどうかを確認のこと。
2. 問題1, 2に全て解答すること。
3. 全ての解答用紙の受験番号欄に受験番号を必ず記入すること。
4. 解答が解答用紙の表面に書ききれない場合は裏面につづけて記入すること。
5. 試験終了後は, 解答用紙のみを回収するので, 解答用紙以外は持ち帰ること。

# 高度学校教育実践専攻教員養成特別コース試験問題

## 問題用紙全2枚(その1)

### 問題 1

文部科学省 初等中等教育分科会(第80回)[平成24年7月13日]において、議題として「特別支援教育の在り方に関する特別委員会報告について」が取り上げられました。その中では、「学校教育は、障害のある幼児児童生徒の自立と社会参加を目指した取組を含め、『共生社会』の形成に向けて、重要な役割を果たすことが求められている。」と唱われています。

そこで、あなたが学級担任になったとき、その学級を「すべての子どもが共に生活し、共に学ぶ場」にするために、どのような実践に取り組もうと思いますか。また、その実践の中で、「共生社会の形成」に必要な態度として、何を育てたいと考えますか。校種を設定した上で、下記の資料を参考にして論じなさい。

#### (資料)

##### 1. 共生社会の形成に向けて

##### (2) インクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進

##### 4. 共に学ぶことについて

- 基本的な方向性としては、障害のある子どもと障害のない子どもが、できるだけ同じ場で共に学ぶことを目指すべきである。その場合には、それぞれの子どもが、授業内容が分かり学習活動に参加している実感・達成感を持ちながら、充実した時間を過ごしつつ、生きる力を身に付けていけるかどうか、これが最も本質的な視点であり、そのための環境整備が必要である。
- 共に学ぶことを進めることにより、生命尊重、思いやりや協力の態度などを育む道德教育の充実が図られるとともに、同じ社会に生きる人間として、互いに正しく理解し、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶなど、個人の価値を尊重する態度や自他の敬愛と協力を重んずる態度を養うことが期待できる。
- 障害のある子どもにとっても、障害のない子どもにとっても、障害に対する適切な知識を得る機会を提供するとともに、バランスのとれた自己理解、達成感の積み重ねから得られる自己肯定感、自己の感情等の管理する方法を身に付けつつ、他者理解を深めていくことが適当であり、子どもの多様性を踏まえた学級づくりや学校づくりが望まれる。
- 個々の子どもの障害の状態や教育的ニーズ、学校や地域の実情等を十分に考慮することなく、すべての子どもに対して同じ場での教育を行おうとすることは、同じ場で学ぶという意味では平等であるが、実際に学習活動に参加できていなければ、子どもには、健全な発達や適切な教育のための機会を平等に与えることにはならず、そのことが、将来、その子どもが社会参加することを難しくする可能性がある。財源負担も含めた国民的合意を図りながら、大きな枠組みを改善する中で、「共に育ち、共に学ぶ」体制を求めていくべきである。
- 障害のある子どもが、多様な子どもの中で共に学び、社会で生きる力を身に付けることと同時に、同じ障害のある子ども同士が共に学ぶことにより、それぞれの障害固有のコミュニケーション能力を高めるなどして、相互理解を深めていくことも重要である。学校教育の場でも学校教育以外の場でも、それらの機会を提供していくことが重要である。

(文部科学省 初等中等教育分科会(第80回)配付資料、資料1「特別支援教育の在り方に関する特別委員会報告 1」平成24年7月13日より、[一部改変])

# 高度学校教育実践専攻教員養成特別コース試験問題

## 問題用紙全2枚 (その2)

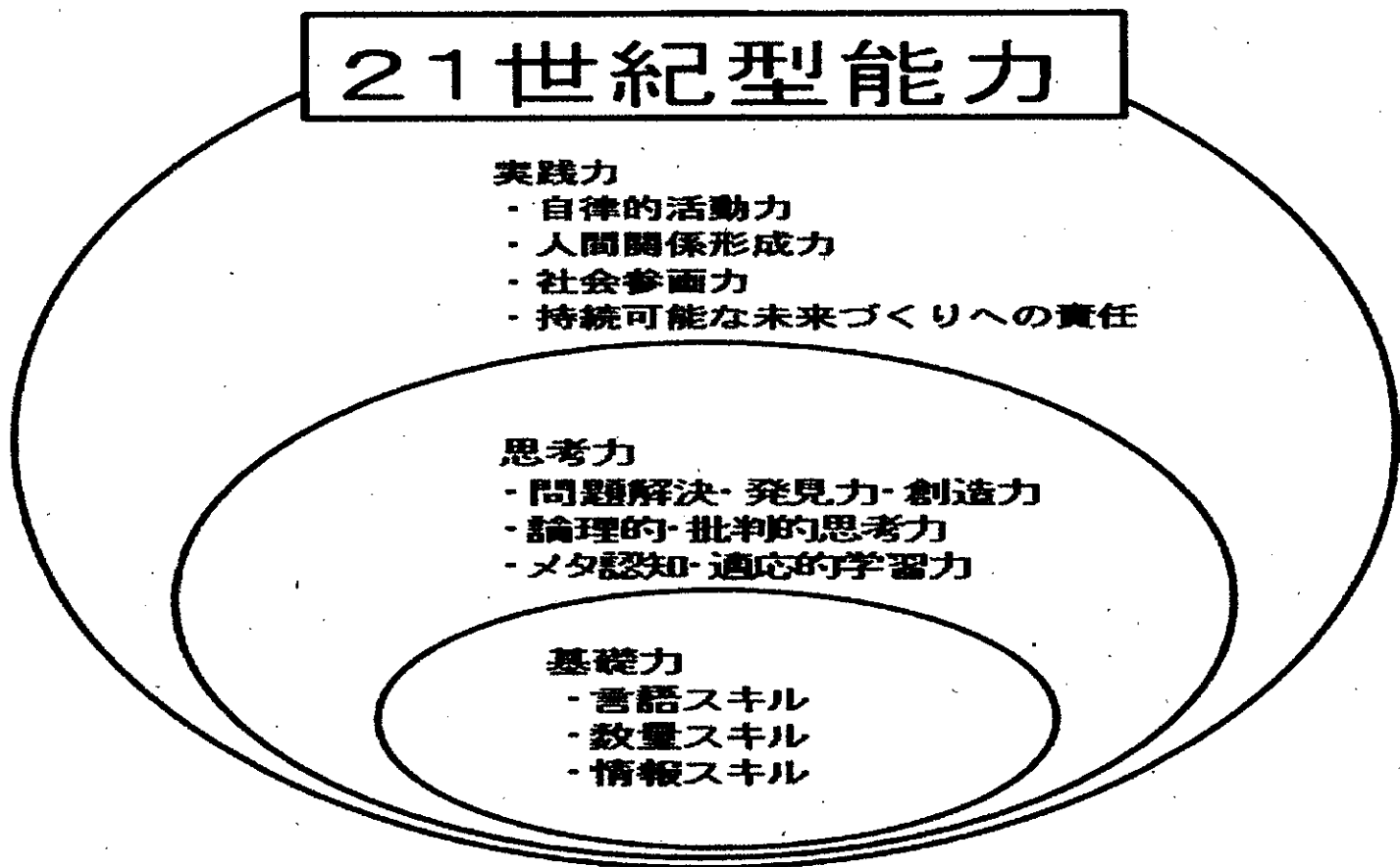
### 問題 2

国立教育政策研究所は、教育課程の編成に関する基礎的研究報告書 5「社会の変化に対応する資質や能力を育成する教育課程編成の基本原則」の中で下図のような「21 世紀型能力」を提案しています。

「21 世紀型能力」は、学力の三要素（1 基礎的・基本的な知識・技能, 2 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等, 3 学習意欲）を「課題を解決するため」の資質・能力という視点で再構成し、さらに、「確かな学力」と「豊かな心」、「健やかな体」の育成という現行学習指導要領が目指す知・徳・体を総合的に関連づけて捉えた上で、これからの学校教育で身に付けさせたい資質・能力として示されています。

あなたが教師になったとき、21 世紀型の能力を育成するために授業の中でどのような取り組みを行いますか。校種と教科を設定した上で、取り組みの具体的な内容について述べなさい。

図「21 世紀型能力」



(国立教育政策研究所『教育課程の編成に関する基礎的研究報告書 5「社会の変化に対応する資質や能力を育成する教育課程編成の基本原則」』平成 25 年 3 月より)